



topics

- [お知らせ]
140周年基金を設立しました
基金設立にあたって～中山裕之～
診療科のご案内
教員着任のご挨拶
桃井康行、猪熊 壽、高橋洋介
- VMCセミナー
- 治験のご案内

お知らせ 140周年記念基金を設立しました

基金設立にあたって

東京大学動物医療センターの前身である、駒場農学校動物病院は1880年11月に開設され、ドイツから渡日したヤンソン先生の指導のもと獣医臨床教育の場として活動を開始しました。2020年、本センターは開設140周年を迎えます。明治期より、我が国の獣医臨床と獣医学教育・研究の先端を担ってきました。しかし、昨今の国立大学の経費削減のあおりを受け、施設の改装・充実が困難な状況が続いています。センターとしても様々な経営努力を行ってまいりましたが、抜本的解決には及ばない状況です。

獣医師の仕事は多岐に渡ります。中でも、伴侶動物の臨床獣医師は、動物の命や健康を守るとともに、その家族である人々の心の健康も守る、大切な役割を担っています。動物医療センターは、伴侶動物の高度診療を通じて人と動物の幸せなよりよい関係を構築し、人々の社会生活の平穏と健康を支援したいと考えています。人と動物が共に生き、環境や生き物に対する思いやりをもったやさしい社会を実現したい。その実現のためには、獣医師を志す若者の育成と、教育研究施設の整備が必要不可欠です。あたたかいご支援をよろしくお願い申し上げます。



センター長 / 農学博士
獣医病理学研究室教授
中山 裕之 Nakayama Hiroyuki



東京大学動物医療センター 140周年記念基金



お申込み方法

- 書面によるお申込み
所定の「払込取扱票」に必要事項をご記入の上、各金融機関よりお振込みください。
- WEBによるお申込み
東京大学基金のホームページからお申込みいただけます。
東京大学基金
URL : <https://utf.u-tokyo.ac.jp/>
「プロジェクトを探す」から「東京大学動物医療センター140周年記念基金」をご指定ください。
スマートフォンをご利用の方は右のQRコードからもアクセスいただけます。
お支払いは、クレジットカード・ペイジー・インターネットバンキングなどご利用いただけます。



ご寄附へのお礼

下記、両方の特典が適用されます。詳しくは東大基金のHPをご参照ください。年間の寄附金額（累計）に応じオリジナルグッズ等、進呈いたします。

- 東京大学基金の特典
 - ① 安田講堂への銘板掲示（累計30万円以上ご寄附いただいた個人・法人）
 - ② 感謝の集いへご招待（累計30万円以上ご寄附いただいた個人）
 - ③ 税法上の優遇措置 など※東京大学へのご寄附には税法上の優遇措置が適用されます。別途お送りする領収書を控除証明書として確定申告書に添付し、所轄税務署へご提出ください。
- 東京大学動物医療センターオリジナル特典
 - ① 140周年記念限定会員証の進呈（継続ご支援をいただいた個人・法人）
 - ② センターHPにてWEB銘板掲載（累計3万円以上ご寄附いただいた個人・法人）
 - ③ オリジナルグッズの進呈（累計10万円以上ご寄附いただいた個人・法人）
 - ④ 寄附者限定見学ツアーご招待（累計10万円以上ご寄附いただいた個人・法人）
 - ⑤ センター入り口への銘板掲示（累計30万円以上ご寄附いただいた個人・法人）
 - ⑥ 寄附者限定ペット健康相談会へご招待
累計100万円以上ご寄附いただいた個人の方→年1回
累計500万円以上ご寄附いただいた個人の方→年2回
 - ⑦ 特別記念品の贈呈（累計1,000万円以上ご寄附いただいた個人・法人） など



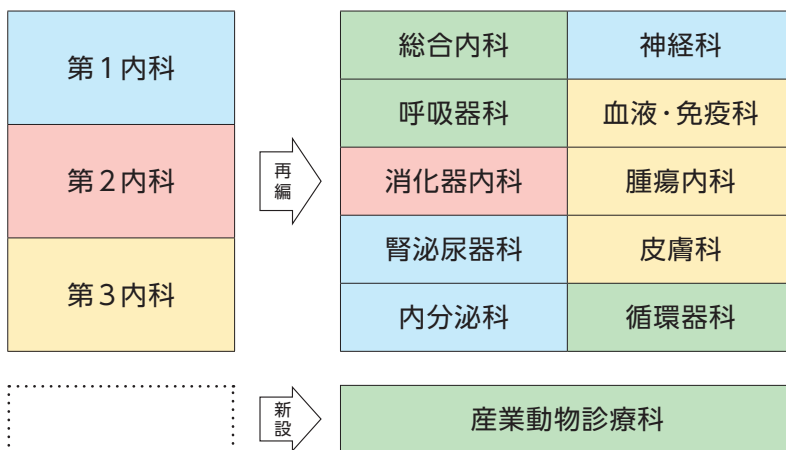
VMCの前身である家畜病院は、1880年11月22日（図らずも「わんわんにゃんにゃんの日」でした）に駒場農学校内に開設されました。2020年11月22日に開設140周年を迎えるにあたり、東京大学基金にて140周年記念基金プロジェクトを立ち上げました。皆様とともに、動物にも人にもやさしい世界一の動物病院を目指します！ ※詳細は上記QRコードよりご参照ください

お知らせ

診療科・検査部のご案内

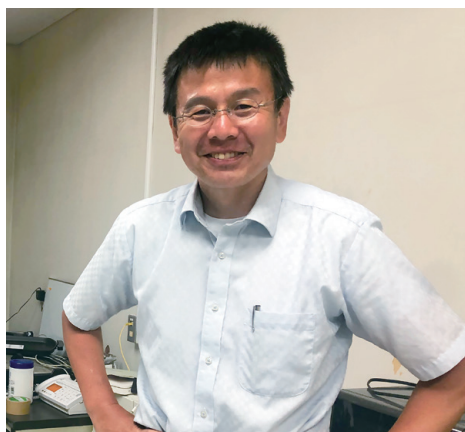
内科診療の診療科が再編され、新体制での診療がスタートしました。従来の大きな診療科区分ではなく、臓器部位ごとに診療科が細分されるようになりました。それに伴い総合内科、呼吸器科および循環器科が新設されました。各科の教員の担当についてはホームページをご確認ください。さらに充実した獣医療の提供に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

また、2019年8月に産業動物診療科が立ち上がり、帯広大学で大動物診療をされていた猪熊壽先生が教授に着任されました。今後は大動物の診療機会も徐々に増やしていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。



お知らせ

教員着任のご挨拶



臨床病理学研究室 教授 桃井 康行

本年9月に臨床病理の教授として赴任してきました。東京大学動物医療センターでは内科系診療を担当いたします。近年、画像診断装置の発達、分子生物学的手法の開発、地道な知見の積み上げにより低侵襲で低リスクの動物にやさしい獣医療が少しずつ実現してきています。これまで岐阜大学、東京農工大学、鹿児島大学を経て20数年ぶりに東京大学に戻ってきました。いくつかの大学を巡り、様々な先生にご教授いただく機会に恵まれ、多くの症例を経験させていただきました。これといった専門分野はないですが、逆にそれが武器になるように学内外の先生と連携しながら、クライアントにとって最善の獣医療を模索していこうと思っております。また臨床病理学の分野ではこれまでなかった有用な診断法の開発に注力し、微力ながら獣医療の発展に貢献したいと考えております。地域の先生と共によりよい獣医療を提供できるよう努力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。



産業動物臨床学研究室 教授 猪熊 壽

はじめまして。今年8月からVMCに新しくできました産業動物診療科担当の猪熊(いのくま)です。産業動物(牛、馬、豚、山羊、めん羊など)を対象に、産業動物獣医師への診断支援、病理診断等の病性鑑定、慢性感染症管理・コンサル、難診断疾患の病態解析などを行います。東京の真ん中で産業動物? と、お思いでしょうか、産業動物も重要な獣医学の対象であり、獣医学専攻の学生さんにとっては不可欠な分野です。産業動物関係の講義と実習も担当しています。普段はVMCから90km離れた茨城県笠間市の大学附属牧場が本拠地ですが、ときどき牛や山羊を弥生キャンパスにトラックに載せて連れてきています。写真は、赴任後初めてのVMCでの牛症例の診療の現場です。少し遠いですが、弥生キャンパスの学生さん達に産業動物症例をできるだけ経験してもらうことを目標に頑張ります。VMCの裏庭で何かしているのを見かけたら声をかけてください。どうぞよろしくお願いいたします。



外科系診療科 特任研究員 高橋 洋介

はじめまして、本年10月より軟部組織外科で勤務しております高橋洋介です。私はこれまで一般診療からVMC外科での研修医を経て救急診療や民間二次診療で勤務し、現在は日本獣医麻酔外科学会の専門医レジデントとして外科を専攻しております。大学ならではの診療データを生かし臨床研究と診察を両立させ、微力ながら獣医療に貢献していきたいと考えています。東京大学に紹介して良かったと思って頂けるような透明性のある診療を心がけていきます。広い視野を持った外科医になれるよう修行中の身ではありますが、ご紹介頂くかかりつけ動物病院様と連携を取りながら、飼い主様と動物にとって最善の治療を行なっていけたらと思います。よろしくお願いいたします。

VMCセミナー

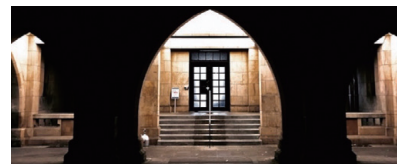
場所が1号館から2号館に変わりました

詳細はこちら▶



VMCセミナーでは、臨床教員1名による教育講演と、内科系・外科系研修医1名ずつによる症例検討会を開催しています。学内外を問わず獣医臨床を志す多くの方の参加をお待ちしています。

対象	臨床獣医師、獣医学科学生	開催日	隔月1回(奇数月) 金曜日 20:00～22:00
参加料	無料(事前予約の必要はありません)	場所	農学部2号館2階第1講義室 (人数によっては変更の可能性あり)



セミナーの日程、内容についてメールでのご連絡を行っております。
ご希望の方は下記連絡先までご連絡下さい。登録確認メールをお送りいたします。



- 発行時期(内容): 4月および9月頃(日程連絡)、当月(セミナータイトル)
- 対象: 獣医師(研修医、学生)および医療従事者(薬剤師、製薬会社、医療機器製造販売会社等を含む)

連絡先 本阿彌 宗紀 utvmc.info@gmail.com

治験のご案内

詳細はこちら▶



東大VMCでは以下6つの治験プログラムを実施しています。対象となるのは犬の腫瘍性疾患(組織球性肉腫・移行上皮癌・前立腺癌)や、ネコの慢性腎臓病など、いずれも現在の獣医療では根本的な治療が難しい疾患です。当該症例に遭遇した場合は当センターへのご紹介をお願いします。詳細は右上のQRコードを参照ください。

✓ 犬の組織球性肉腫に対する治療試験

対象

- 播種性組織球性肉腫と診断された犬
- 化学療法が適応と判断され、第一選択薬であるロムスチン(あるいはニムスチン)が投与されたものの、当初より効果が認められない、あるいは効果が認められた後に耐性を獲得した症例
- 東京大学附属動物医療センターへの来院が可能

✓ 犬の膀胱・尿道移行上皮癌および前立腺癌に対する臨床試験

対象

- 移行上皮癌(膀胱・尿道)、または前立腺癌と診断された犬(※疑いで紹介していただいても構いません)
- 抗がん剤、放射線療法、外科摘出を実施していない(NSAIDsは可)
- 薬剤を1日1回経口投与できる
- 東京大学附属動物医療センターに通院できる(4週間に1回程度の頻度です)

✓ 猫・犬の慢性腎臓病に対する臨床試験

対象

- 慢性腎臓病と診断された猫および犬(Cre = 2.0 ~ 5.0)
- 現在、尿管結石症、尿石症、細菌性膀胱炎、腎盂腎炎を有しない(※他の薬や療法食は与えていても与えていなくても結構です)

✓ 犬の特発性てんかんに対する臨床試験

対象

- 特発性てんかんと診断された犬
- 抗てんかん薬で治療中
- 試験開始前の1ヶ月間で2回以上の発作が認められた

✓ 猫悪性腫瘍に対するニムスチンの臨床試験

対象

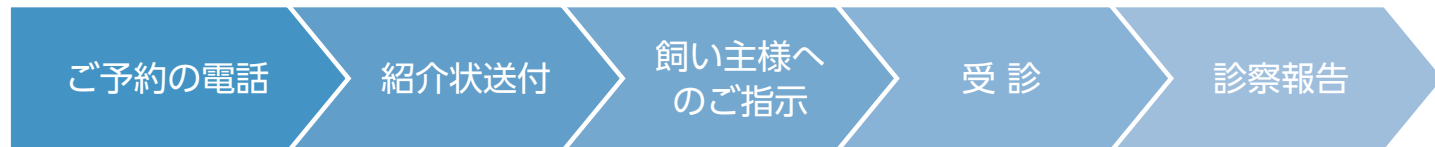
- 細胞診または病理組織学的検査にて悪性腫瘍と診断された症例
- 放射線療法、外科的手術、骨髄抑制を起こす化学療法を2週間以内に実施していない症例
- 東京大学附属動物医療センターに通院できる(週に1回の頻度で投与から3週間目まで)

✓ 猫の多発性嚢胞腎に対する臨床試験

対象

- 多発性嚢胞腎と診断された猫(※疑いで紹介していただいてももちろん構いません)
- 治療を実施していない(治療されている場合、4週間以上の休薬期間が必要)
- 飼い主さまのご自宅で皮下補液を1日2回実施することができる(皮下補液の方法をレクチャーした後に担当医と一緒に練習してもらいます)
- 東京大学附属動物医療センターに通院できる(3ヶ月に1回程度の頻度です)

初診予約～診察の流れ



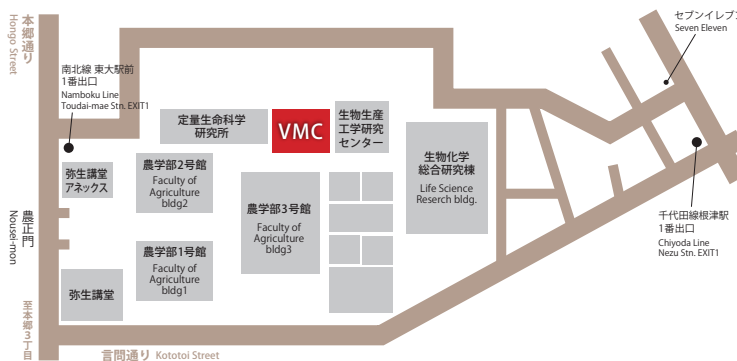
- かかりつけの動物病院よりお電話にて希望診療科と日時をお伝えください。
- 事前に本センターへFAXにてお送りください。
- 当日、朝に食事を与えないよう指示をお願いします。
- 飼い主様にお持ちいただけるよう紹介状をお渡しください。
- 診断結果・治療方針などについて、電話および書面にてご報告します。

初診外来表

診療科	受付時間	月	火	水	木	金
内科系	9:00-14:00	○	○	○		○
外科系	9:00-15:00	○	手術	手術	○	手術
眼科	9:00-15:00	○	○	手術		○
エキゾチック	9:00-15:00	○		手術		
行動	10:00-15:00	○			○	

予約専用(代表) ☎ **03-5841-8004** (平日 11:00 ~ 16:00)
 其他のお問合せ ☎ **03-5841-5420** (平日 9:00 ~ 16:00)
 ☎ **03-5841-5413** (平日 16:00 ~ 20:00)
 行動診療科はFAXにて予約: **03-5841-8190**
 (詳細は <http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/koudou/j-clinic1.html>)

アクセス



- ★電車でお越しの場合:
 - ・メトロ南北線 東大前駅 出口1から徒歩3分
 - ・メトロ千代田線 根津駅 出口1から徒歩13分(根津駅からは登り坂です)
- ★お車でお越しの場合:
 - ・農学部正門からお入りください。病院の前までお入りいただけます。

ご予約時の注意点 (詳細は右下のQRコードをご参照ください)

当センターでは病気の確定診断や、手術などを含む高度医療に主力をおいています。一般的な治療や診断後・安定後の治療はできる限り紹介医にお願いすることを原則としておりますので、あらかじめご了承ください。

- ・外科の初診は診察のご予約になります。手術のご予約ではありませんのでご了承ください。また、麻酔が必要な検査や処置は初診当日に行えない場合があります。
- ・当センターの放射線治療装置はオルソボルテージのみとなっています。当センターでの対応が難しい場合は他の診療施設を紹介させていただく場合があります。オルソボルテージの装置では適応外の可能性がある場合は他の診療施設への紹介をご検討ください。
- ・診断あるいは治療方針が確定しましたら、原則として紹介病院にお引き継ぎいただきます。
- ・ご紹介後、当院の休診日(土日祝日など)で対応できない場合は、貴院でのご対応をお願いいたします。(診察日であっても緊急手術などの緊急対応には原則として応じることができませんのでご了承ください。)
- ・当センターはエキゾチック動物診療科を設置しておりますが、動物種によってはお受けできない場合がありますのでご了承ください。

また、以下の点を飼い主様へ説明をお願いします。

- ・来院当日の朝は絶食の上でお連れください(飲水は可)。(糖尿病、幼齢、エキゾチック動物などで絶食が困難と思われる場合は当センターにご確認ください)
- ・当日の検査は、動物の状態や当センター全体の検査状況に応じて行います。初めて来院される際に、必ずしも全ての検査が行なえるとは限りませんのでご了承下さい。
- ・緊急性がある場合をのぞき、予約当日の外科手術は行なっていません。

詳細はこちら▷



休診のお知らせなどの情報更新は随時HPで公開しております。HPもぜひご覧ください。

<http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/vmc/>

Facebookもチェック



東京大学附属動物医療センター
 Veterinary Medical Center, The University of Tokyo

【住所】 〒113-8675 東京都文京区弥生1-1-1
 【TEL】 予約専用(代表) : 03-5841-8004 【受付時間】 平日 11:00 ~ 16:00
 其他のお問合せ : 03-5841-5420 【受付時間】 平日 9:00 ~ 16:00
 03-5841-5413 【受付時間】 平日 16:00 ~ 20:00
 【URL】 <http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/vmc/>

編集・発行

編集委員: 東京大学附属動物医療センター 広報委員会

発行日: 2019年12月20日 発行所: 東京大学附属動物医療センター